

令和4年度  
小・中学校教育課程編成の手引  
【総則編】

---

## 1 「令和の日本型学校教育」の姿

---

北海道教育委員会

# 1 「令和の日本型学校教育」の姿

## 1 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

### 社会背景

社会の在り方が劇的に変わる  
**Society5.0時代**の到来

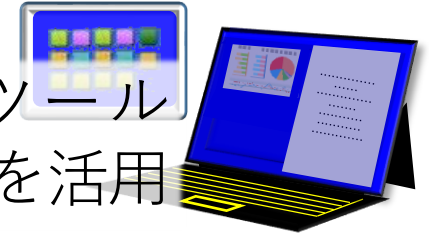
先行き不透明な  
**予測困難な時代**

社会全体の  
**DX加速の必要性**



新学習指導要領  
の着実な実施

基盤的なツール  
としてICTを活用



### 子どもたちに育む べき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること

### 【参考資料】

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）  
〔令和3年1月26日 中央教育審議会〕



学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料  
〔令和3年3月版 文部科学省初等中等教育局教育課程課〕



# 1 「令和の日本型学校教育」の姿

## 2 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

### 知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」

子どもたちの状況を  
総合的に把握して  
教師が指導

学習  
指導



生徒  
指導

全ての子どもたちに一定水準の教育を保障

### 再認識された学校の役割

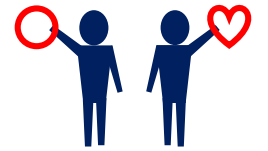
学習機会と  
学力の保障



全人的な発達・  
成長の保障



身体的・精神的  
な健康の保障



### 成果

国際的にトップクラスの学力

学力の地域差の縮小

規範意識・道徳心の高さ

### 今日の学校教育が直面している課題

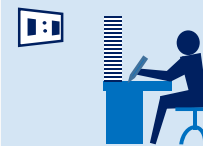
子どもたちの  
多様化



生徒の学習  
意欲の低下



教師の  
長時間勤務



情報化への  
対応の遅れ



少子化・人口  
減少の影響

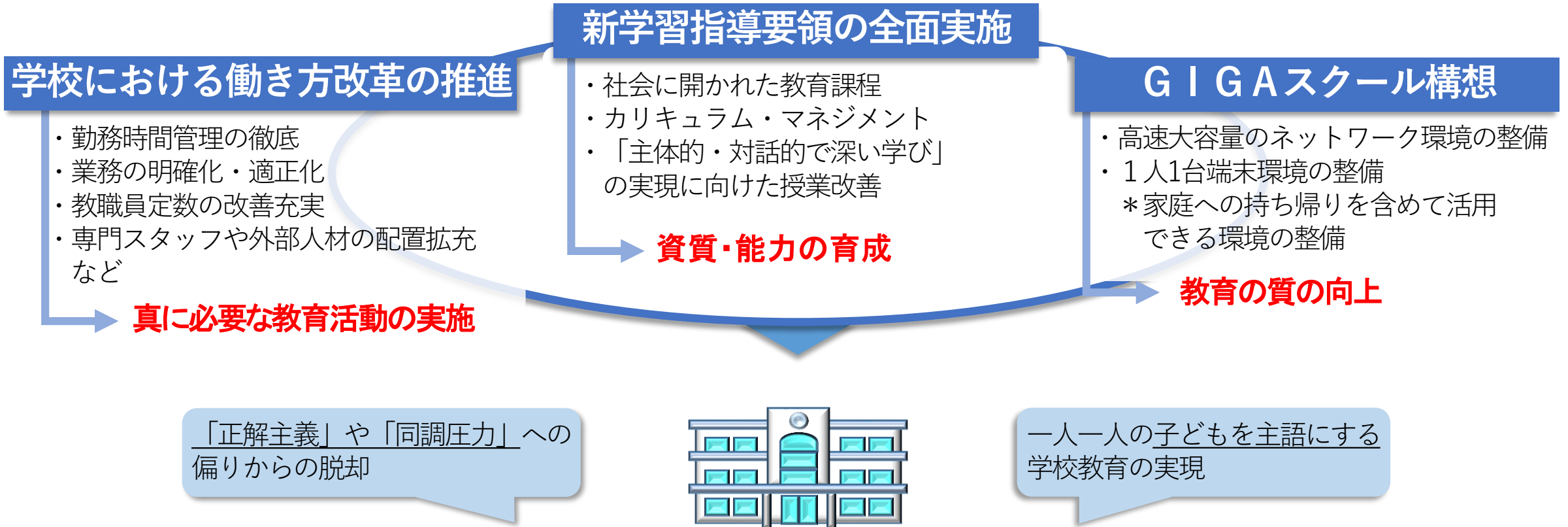


感染症への  
対応



# 1 「令和の日本型学校教育」の姿

## 2 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて



従来の「日本型学校教育」のよさを受け継ぎ、さらに発展させる

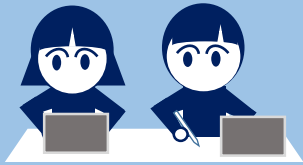
**新しい時代の学校教育（令和の日本型学校教育）の実現**

# 1 「令和の日本型学校教育」の姿

## 3 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

個別最適な学びと協働的な学びの実現

全ての子どもたちの可能性を引き出す



子どもの学び

- ☐ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- ☐ 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

個別最適な学び

協働的な学び

主体的・対話的で深い学び

ICTの活用



教職員の姿

- ☐ 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- ☐ 子ども一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- ☐ 子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

教師の資質・能力の向上

学校における働き方改革

家庭や地域社会との連携



子どもの学びや  
教職員を支える環境

- ☐ ICT環境の整備により、指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- ☐ 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- ☐ 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

ICT環境の整備

学校施設の整備

少人数指導によるきめ細かな指導体制

# 1 「令和の日本型学校教育」の姿

## 4 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

学校や教師が果たすべき業務・役割・指導の  
範囲・内容・量の精選・縮減・重点化

学校と地域社会の連携・協働  
一体となって子どもの成長を支えていく

「二項対立」の陥穽に陥らない  
どちらのよさも適切に組み合わせて生かしていく

- ☐ 一斉授業 or 個別学習
- ☐ デジタル or アナログ
- ☐ 遠隔・オンライン or 対面・オフライン
- ☐ 履修主義 or 修得主義



全ての子どもたちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと協働的な学びの実現のための改革の方向性

①

学校教育の質と多様性、包摂性を高め、  
教育の機会均等を実現する



②

連携・分担による  
学校マネジメントを実現する



③

履修主義・習得主義等を  
適切に組み合わせる



④

これまでの実践と、  
ICTとの最適な組み合わせを実現する



⑤

感染症や災害の発生等を  
乗り越えて学びを保障する



⑥

社会構造の変化の中で、  
持続的で魅力ある学校教育を実現する

